

## 【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果

学校名	鳥栖市立田代中学校			達成度（評価） A : 十分達成できている B : おおむね達成できている C : やや不十分である D : 不十分である																																																																										
<b>1 前年度 評価結果の概要</b>		<p>・昨年度年の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレット端末などのICT機器を、どの程度使用しましたか?」という問い合わせに対して、肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と比べて大きく下回っていた。これから社会を生き抜く力の育成や個別最適な学びの実現のためには、タブレット端末などのICT機器を使いこなすことが必要である。今年度は校内研においてもタブレット端末の効果的な活用について研議を深めたい。</p> <p>・本校は、500人を超える自転車通学生があり、自転車運転のマナーの向上が継続した課題である。昨年度は幸い大きな事故はなかったものの、自動車・自転車同士の接触事故や転倒などの自損事故が30件以上発生した。本年度も交通安全教室を2度実施するなど交通安全意識の向上に努めたい。さらに全職員による継続した指導を行うとともに、PTAや地域と連携して一層の安全教育の推進を図っていきたい。</p> <p>・不登校や不登校傾向の生徒など学校不適応の生徒が増えており、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関とのより一層の連携を図ることが今年度の課題である。</p>																																																																												
<b>2 学校教育目標</b>		心豊かで、たくましく生き抜く力を身につけた生徒の育成																																																																												
<b>3 本年度の重点目標</b>		<p>①主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善（魅力ある授業づくり、タブレット端末の有効活用）を通して、確かな学力の向上を図る。②よりよい人間関係づくりに基づき、自主的な活動や自己決定する場面を設定し、豊かな学校生活づくりを推進する。③基本的生活習慣の確立や安全教育の充実により、心身の健全な育成に努める。④家庭や地域との連携・協働を強化し、コミュニティ・スクールの推進・充実を図り、地域とともに学校づくりを推進する。⑤業務の効率化と時間外勤務時間の削減に努め、働き方改革を推進する。</p>																																																																												
<b>4 重点取組内容・成果指標</b>		<b>5 最終評価</b>																																																																												
(1) 共通評価項目																																																																														
<p>●学力の向上</p> <p>●心の教育</p> <p>●健康・体づくり</p> <p>●業務改善・教職員の働き方改革の推進</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重点取組</th> <th rowspan="2">具体的な取組</th> <th colspan="2">最終評価</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>取組内容</th> <th>達成度（評価）</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○(学校独自重点取組)</td> <td>○(学校独自成果指標)</td> <td rowspan="2">A</td> <td>・学校評価アンケートで授業に主体的に参加したと回答した生徒は95%で、目標を大きく上回ることができた。 ・タブレット端末を週に3回以上使用したと回答した生徒の割合は31.6%で、県の24.0%を大きく上回ることができた。</td> <td rowspan="2">・学力向上コーディネーター ・研究主任</td> </tr> <tr> <td>・主体的に学びに向かう生徒の育成を目指し、全職員でタブレット端末を活用した授業の改善を行う。</td> <td>・授業に主体的に参加したと回答した生徒が80%以上 ・タブレット端末を週に3回以上使用したと回答した生徒の割合で県平均を上回る。</td> </tr> <tr> <td>●生徒が、自他の命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</td> <td>○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒の割合が75%以上。</td> <td rowspan="2">A</td> <td>・思考や価値判断を伴う道徳の授業が毎週展開できるよう、学年で協力しながら教材研究にあたる。</td> <td rowspan="2">・学校評価アンケート(生徒)では、約90%の生徒が道徳の授業で友だちの意見を出し合うことが、多面的・多角的な考え方につながっていると回答している。 ・「いいめいのことを考える日の毎月の取組を通じて、様々な人権課題について考えを深め、豊かな心を身に付ける教育活動に寄与した。</td> </tr> <tr> <td>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</td> <td>○安心安全に過ごせる学び合う集団であると回答した生徒の割合が75%以上</td> </tr> <tr> <td>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動</td> <td>●「先生はあなたのように見える」と回答した生徒は75%以上 ●将来の夢や目標を持つている」という肯定的な回答をした生徒75%以上</td> <td rowspan="2">B</td> <td>・年10回以上のアンケートを実施 ・いじめのことを考える日の毎月実施 ・週毎の生徒指導委員会にて、いじめ事案の経過を確認する。</td> <td rowspan="2">・生徒指導主事 ・教育相談</td> </tr> <tr> <td>○生徒会活動の活性化を通じて、支え合う人間関係づくりを推進</td> <td>○不登校生徒数(出現率9.2%)を、前年比で減少させる。</td> </tr> <tr> <td>次の中から1つ以上を選択 ①運動習慣の改善や定着化 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</td> <td>●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間に420分以上の生徒70%以上 ●田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつの)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する。 ●健康に良い食事をしている生徒70%以上</td> <td rowspan="2">B</td> <td>・運動やスポーツを安心安全に行える環境づくりを実現する。 ・田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつの)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する。 ・給食や家庭科の授業等を通して、望ましい食習慣と食の自己管理の大切さを指導する。また、家庭実験が出来ているか、授業中のアンケートを取り、その結果を次に活かす。</td> <td rowspan="2">・部活動担当 ・生徒会担当 ・給食担当 ・家庭科主任</td> </tr> <tr> <td>○「安全に関する資質・能力の育成」</td> <td>○自転車のルール遵守とマナーアップモデル校として、交通事故防止啓発を強化し、事故率を前年度よりも減少させる。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;"> <p>●・県共通 ○・学校独自 ○・…志を高める教育</p> </td> <td colspan="2"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重点取組</th> <th rowspan="2">具体的な取組</th> <th colspan="2">最終評価</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>重点取組内容</th> <th>達成度（評価）</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○小中一貫教育の充実</td> <td>○教科「日本語」の実践充実</td> <td rowspan="2">B</td> <td>・通信等で発信できと回答する教員が50%と目標を達成することができなかった。保護者への周知もありできていなかったため、体験学習等をしたときには、教科「日本語」として取り組んだことを、発信していきたい。</td> <td rowspan="2">・教科「日本語」教育コーディネーター</td> </tr> <tr> <td>○コミュニケーションスクール（学校運営協議会）の機能推進</td> <td>○機能推進、地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の推進など。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>○(学校独自重点取組・任意) ・全職員で生徒の特性を加味して特別支援教育を取り組む。</td> <td>○(学校独自成果指標・任意) ・授業記録に毎回記録する。</td> <td>B</td> <td>・授業者の授業記録を基に生徒に支援でき、部会での情報交換を行った。ただ、授業記録が複数冊になると記録する時間が不足するので、今後改良を重ねていく必要がある。</td> <td>・特別支援コーディネーター</td> </tr> <tr> <td colspan="5"><b>5 総合評価・次年度への展望</b></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <p>・本年度は県学習状況調査、全国学力・学習状況調査において、学力の向上を見る事ができた。今後も授業改善を継続したい。また、タブレット端末においては、昨年度に比べ大幅に活用率が上がったので、来年度はより効率的な活用のあり方を全教科全領域で探りたい。</p> <p>・本校は、500人を超える自転車通学生があり、自転車運転のマナーの向上が継続した課題である。幸い大きな事故はなかったものの、自動車・自転車同士の接触事故や転倒などの自損事故が昨年度よりも多く発生してしまった。交通安全教室を2度実施することにより交通安全意識の向上に努めたが、さらに全職員による継続した指導を行うとともに、PTAや地域と連携して一層の安全教育の推進を図っていきたい。</p> <p>・不登校や不登校傾向の生徒など学校不適応の生徒が増えており、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関とのより一層の連携を図っていきたい。</p> </td> </tr> </tbody></table>		重点取組		具体的な取組	最終評価		評価項目	取組内容	達成度（評価）	実施結果	○(学校独自重点取組)	○(学校独自成果指標)	A	・学校評価アンケートで授業に主体的に参加したと回答した生徒は95%で、目標を大きく上回ることができた。 ・タブレット端末を週に3回以上使用したと回答した生徒の割合は31.6%で、県の24.0%を大きく上回ることができた。	・学力向上コーディネーター ・研究主任	・主体的に学びに向かう生徒の育成を目指し、全職員でタブレット端末を活用した授業の改善を行う。	・授業に主体的に参加したと回答した生徒が80%以上 ・タブレット端末を週に3回以上使用したと回答した生徒の割合で県平均を上回る。	●生徒が、自他の命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒の割合が75%以上。	A	・思考や価値判断を伴う道徳の授業が毎週展開できるよう、学年で協力しながら教材研究にあたる。	・学校評価アンケート(生徒)では、約90%の生徒が道徳の授業で友だちの意見を出し合うことが、多面的・多角的な考え方につながっていると回答している。 ・「いいめいのことを考える日の毎月の取組を通じて、様々な人権課題について考えを深め、豊かな心を身に付ける教育活動に寄与した。	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○安心安全に過ごせる学び合う集団であると回答した生徒の割合が75%以上	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのように見える」と回答した生徒は75%以上 ●将来の夢や目標を持つている」という肯定的な回答をした生徒75%以上	B	・年10回以上のアンケートを実施 ・いじめのことを考える日の毎月実施 ・週毎の生徒指導委員会にて、いじめ事案の経過を確認する。	・生徒指導主事 ・教育相談	○生徒会活動の活性化を通じて、支え合う人間関係づくりを推進	○不登校生徒数(出現率9.2%)を、前年比で減少させる。	次の中から1つ以上を選択 ①運動習慣の改善や定着化 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間に420分以上の生徒70%以上 ●田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつの)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する。 ●健康に良い食事をしている生徒70%以上	B	・運動やスポーツを安心安全に行える環境づくりを実現する。 ・田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつの)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する。 ・給食や家庭科の授業等を通して、望ましい食習慣と食の自己管理の大切さを指導する。また、家庭実験が出来ているか、授業中のアンケートを取り、その結果を次に活かす。	・部活動担当 ・生徒会担当 ・給食担当 ・家庭科主任	○「安全に関する資質・能力の育成」	○自転車のルール遵守とマナーアップモデル校として、交通事故防止啓発を強化し、事故率を前年度よりも減少させる。	(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目					<p>●・県共通 ○・学校独自 ○・…志を高める教育</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重点取組</th> <th rowspan="2">具体的な取組</th> <th colspan="2">最終評価</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>重点取組内容</th> <th>達成度（評価）</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○小中一貫教育の充実</td> <td>○教科「日本語」の実践充実</td> <td rowspan="2">B</td> <td>・通信等で発信できと回答する教員が50%と目標を達成することができなかった。保護者への周知もありできていなかったため、体験学習等をしたときには、教科「日本語」として取り組んだことを、発信していきたい。</td> <td rowspan="2">・教科「日本語」教育コーディネーター</td> </tr> <tr> <td>○コミュニケーションスクール（学校運営協議会）の機能推進</td> <td>○機能推進、地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の推進など。</td> </tr> </tbody> </table>		重点取組		具体的な取組	最終評価		評価項目	重点取組内容	達成度（評価）	実施結果	○小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実	B	・通信等で発信できと回答する教員が50%と目標を達成することができなかった。保護者への周知もありできていなかったため、体験学習等をしたときには、教科「日本語」として取り組んだことを、発信していきたい。	・教科「日本語」教育コーディネーター	○コミュニケーションスクール（学校運営協議会）の機能推進	○機能推進、地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の推進など。	○(学校独自重点取組・任意) ・全職員で生徒の特性を加味して特別支援教育を取り組む。	○(学校独自成果指標・任意) ・授業記録に毎回記録する。	B	・授業者の授業記録を基に生徒に支援でき、部会での情報交換を行った。ただ、授業記録が複数冊になると記録する時間が不足するので、今後改良を重ねていく必要がある。	・特別支援コーディネーター	<b>5 総合評価・次年度への展望</b>					<p>・本年度は県学習状況調査、全国学力・学習状況調査において、学力の向上を見る事ができた。今後も授業改善を継続したい。また、タブレット端末においては、昨年度に比べ大幅に活用率が上がったので、来年度はより効率的な活用のあり方を全教科全領域で探りたい。</p> <p>・本校は、500人を超える自転車通学生があり、自転車運転のマナーの向上が継続した課題である。幸い大きな事故はなかったものの、自動車・自転車同士の接触事故や転倒などの自損事故が昨年度よりも多く発生してしまった。交通安全教室を2度実施することにより交通安全意識の向上に努めたが、さらに全職員による継続した指導を行うとともに、PTAや地域と連携して一層の安全教育の推進を図っていきたい。</p> <p>・不登校や不登校傾向の生徒など学校不適応の生徒が増えており、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関とのより一層の連携を図っていきたい。</p>				
	重点取組		具体的な取組	最終評価																																																																										
	評価項目	取組内容		達成度（評価）	実施結果																																																																									
	○(学校独自重点取組)	○(学校独自成果指標)	A	・学校評価アンケートで授業に主体的に参加したと回答した生徒は95%で、目標を大きく上回ることができた。 ・タブレット端末を週に3回以上使用したと回答した生徒の割合は31.6%で、県の24.0%を大きく上回ることができた。	・学力向上コーディネーター ・研究主任																																																																									
	・主体的に学びに向かう生徒の育成を目指し、全職員でタブレット端末を活用した授業の改善を行う。	・授業に主体的に参加したと回答した生徒が80%以上 ・タブレット端末を週に3回以上使用したと回答した生徒の割合で県平均を上回る。																																																																												
	●生徒が、自他の命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒の割合が75%以上。	A	・思考や価値判断を伴う道徳の授業が毎週展開できるよう、学年で協力しながら教材研究にあたる。	・学校評価アンケート(生徒)では、約90%の生徒が道徳の授業で友だちの意見を出し合うことが、多面的・多角的な考え方につながっていると回答している。 ・「いいめいのことを考える日の毎月の取組を通じて、様々な人権課題について考えを深め、豊かな心を身に付ける教育活動に寄与した。																																																																									
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○安心安全に過ごせる学び合う集団であると回答した生徒の割合が75%以上																																																																												
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのように見える」と回答した生徒は75%以上 ●将来の夢や目標を持つている」という肯定的な回答をした生徒75%以上	B	・年10回以上のアンケートを実施 ・いじめのことを考える日の毎月実施 ・週毎の生徒指導委員会にて、いじめ事案の経過を確認する。	・生徒指導主事 ・教育相談																																																																									
	○生徒会活動の活性化を通じて、支え合う人間関係づくりを推進	○不登校生徒数(出現率9.2%)を、前年比で減少させる。																																																																												
	次の中から1つ以上を選択 ①運動習慣の改善や定着化 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間に420分以上の生徒70%以上 ●田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつの)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する。 ●健康に良い食事をしている生徒70%以上	B	・運動やスポーツを安心安全に行える環境づくりを実現する。 ・田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつの)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する。 ・給食や家庭科の授業等を通して、望ましい食習慣と食の自己管理の大切さを指導する。また、家庭実験が出来ているか、授業中のアンケートを取り、その結果を次に活かす。	・部活動担当 ・生徒会担当 ・給食担当 ・家庭科主任																																																																									
○「安全に関する資質・能力の育成」	○自転車のルール遵守とマナーアップモデル校として、交通事故防止啓発を強化し、事故率を前年度よりも減少させる。																																																																													
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目																																																																														
<p>●・県共通 ○・学校独自 ○・…志を高める教育</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">重点取組</th> <th rowspan="2">具体的な取組</th> <th colspan="2">最終評価</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>重点取組内容</th> <th>達成度（評価）</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○小中一貫教育の充実</td> <td>○教科「日本語」の実践充実</td> <td rowspan="2">B</td> <td>・通信等で発信できと回答する教員が50%と目標を達成することができなかった。保護者への周知もありできていなかったため、体験学習等をしたときには、教科「日本語」として取り組んだことを、発信していきたい。</td> <td rowspan="2">・教科「日本語」教育コーディネーター</td> </tr> <tr> <td>○コミュニケーションスクール（学校運営協議会）の機能推進</td> <td>○機能推進、地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の推進など。</td> </tr> </tbody> </table>		重点取組		具体的な取組	最終評価		評価項目	重点取組内容	達成度（評価）	実施結果	○小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実	B	・通信等で発信できと回答する教員が50%と目標を達成することができなかった。保護者への周知もありできていなかったため、体験学習等をしたときには、教科「日本語」として取り組んだことを、発信していきたい。	・教科「日本語」教育コーディネーター	○コミュニケーションスクール（学校運営協議会）の機能推進	○機能推進、地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の推進など。																																																												
	重点取組		具体的な取組	最終評価																																																																										
	評価項目	重点取組内容		達成度（評価）	実施結果																																																																									
	○小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実	B	・通信等で発信できと回答する教員が50%と目標を達成することができなかった。保護者への周知もありできていなかったため、体験学習等をしたときには、教科「日本語」として取り組んだことを、発信していきたい。	・教科「日本語」教育コーディネーター																																																																									
○コミュニケーションスクール（学校運営協議会）の機能推進	○機能推進、地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の推進など。																																																																													
○(学校独自重点取組・任意) ・全職員で生徒の特性を加味して特別支援教育を取り組む。	○(学校独自成果指標・任意) ・授業記録に毎回記録する。	B	・授業者の授業記録を基に生徒に支援でき、部会での情報交換を行った。ただ、授業記録が複数冊になると記録する時間が不足するので、今後改良を重ねていく必要がある。	・特別支援コーディネーター																																																																										
<b>5 総合評価・次年度への展望</b>																																																																														
<p>・本年度は県学習状況調査、全国学力・学習状況調査において、学力の向上を見る事ができた。今後も授業改善を継続したい。また、タブレット端末においては、昨年度に比べ大幅に活用率が上がったので、来年度はより効率的な活用のあり方を全教科全領域で探りたい。</p> <p>・本校は、500人を超える自転車通学生があり、自転車運転のマナーの向上が継続した課題である。幸い大きな事故はなかったものの、自動車・自転車同士の接触事故や転倒などの自損事故が昨年度よりも多く発生してしまった。交通安全教室を2度実施することにより交通安全意識の向上に努めたが、さらに全職員による継続した指導を行うとともに、PTAや地域と連携して一層の安全教育の推進を図っていきたい。</p> <p>・不登校や不登校傾向の生徒など学校不適応の生徒が増えており、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関とのより一層の連携を図っていきたい。</p>																																																																														